



「水俣に学ぶ肥後っ子教室」「集団宿泊」

9月26日～27日に5年生が水俣・芦北へ学習に行きました。

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」は、県内全ての5年生に、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的として実施する県の事業の一環です。

5年生は、当日まで、学校で資料等を使って学習してきましたが、実際に自分の目で見たり、語り部の方からお話を伺ったりしながら、更に学びを深めることができました。今回の学習を通して、子供達が人権や環境について学び、差別や偏見を許さない心情・態度や環境保全活動への実践意欲や態度を身に付け、自分にできることを考え進んで取り組んでいってほしいと願っています。また、「集団宿泊」は、あしきた青少年の家に宿泊し、マリン活動や海岸散策も行いました。自然体験活動では、互いに助け合い、励まし合う姿がたくさん見られました。学校ではできない学びや体験の2日間でした



滝尾だからこそその学び～1年生 生活科の学習～

9月30日(月)、1年生の生活科の時間に、下梅木の徳島さんと佐方さんに来ていただき、ふれあいの森と御船川でいきもの探しをしました。様子を見に行くと「校長先生!〇〇がいました!!」「おっちゃん達が□□□と教えてくれました」と興奮気味に見たもの教えてもらったことを一人一人が伝えてくれました。そして、カニ・化石・魚・動物の骨・・・などなど、見つけたり獲れたりするたびに大歓声があがっていました。生活科は「人・もの・こと」に触れ、体験から学ぶ学習です。今回の体験は、低学年の時に地域で遊び地域の人との触れ合った記憶になり、滝尾の「人・もの・こと」と深く関わって、ふるさとを大切に作る心情を育てることにもつながったと思います。まだまだ学校の周りには宝がいっぱいです。今後も、地域の方との交流の機会を設けるなど、工夫しながら地域とともにある学校づくりに積極的に取り組んでいきます。徳島さん、佐方さん、事前の打合せや準備等々ありがとうございました。

